

03 歴史展示 コンテンツ展開

歴史展示コンテンツ展開手法等の検証

展開手法の検証

以下のような手法を検討・検証し、歴史展示コンテンツ展開に望ましい手法を選択。

展開手法	メリット	デメリット
掲示板・解説板	■材質を問わなければ比較的安価。 ■利用者の情報選択自由度が高い。	■多言語対応にすればかさばる。 ■経年劣化が激しい。 ■情報の改変が困難。
空間・施設展示	■「情景展示」手法を使えば没入感の演出が可能。 ■利用者の情報選択自由度が高い。	■広大な施設が必要となる。 ■イニシャルコストが膨大。 ■情報の改変が困難。
人的ガイド	■利用者の年齢、人数、反応に合わせて可変的に対応できる。 ■生身の人間がもつ高い伝達力での展開が可能。	■育成・管理等にランニングコストがかかる。 ■利用者の理解度が個人の能力や経験に大きく影響される。
ショー・実演（体験含む）	■一定の時間で効果的な情報提供が可能。 ■生身の人間のもつ高い伝達力での展開が可能。	■製作に大きなイニシャルコストがかかる。 ■育成・管理等にランニングコストがかかる。 ■装置系を多用すればランニングコストも上昇。
映像 （大型・移動・携帯）	■一定の時間で効果的な情報提供が可能。 ■複数のコンテンツを提供することにより幅広い年齢層への対応が可能。 ■装置によって、少人数～多人数への対応が可能。 ■コンテンツの入れ替え・再編集が容易。 ■キャラクター設定の自由度が高い。（アニメ等）	■イニシャルコストが比較的大きい。 ■利用者の情報選択自由度が低い。（提示方法で解決可能）

<手法選択のポイント>

- 将来的なコンテンツの追加・改変に向けた情報の更新性に優れること。
- 小中学生～高齢者、少人数～団体など、多様な対象者に柔軟に対応できること。
- 一定の時間で効果的な情報提供が可能であること。

映像を中心に展開。

映像展開装置の検証

映像展開装置の種類	定義・概要	特徴	活用方向
劇場型装置	■周囲と区画された空間で、数人～数百人という対象に対して一度に同じ情報を提供する装置。 (例) 映画館、大画面TV等 	■装置系の工夫により、利用者の没入感が増大。 ■一度に数多くの人数に情報を提供できることが最大のメリット。 ■装置が大きくなるほど設備に膨大なコストがかかる。	歴史理解の導入向け映像・情報
移動型端末	■持ち運びが可能な装置で、移動した場所で1人～数人程度が同じ情報を得る装置。 (例) タブレット型 (i-Pad等) を含むラップトップ型のパーソナルコンピュータ等 	■少人数に対するプレゼンテーション等には最適。 ■重量が5～600グラム以上あり、片手での操作が困難なため、持ち運びながらの情報入手には適さない。 ■遮光、気象などの面で屋外の積極活用は困難。	グループ型学習旅行向け映像・情報
携帯型端末	■専ら1人が持ち運びながら情報を得るために利用する装置。 (例) 携帯電話、スマートフォン、モバイル端末等 	■個人が移動しながら、必要に応じて情報入手。 ■画面が小さいので、細かいことを伝える画像・動画の利用にはあまり適さないが、大まかな様子や音声などについては利用度が高い。	単独型個人旅行向け映像・情報

歴史展示コンテンツの展開方向

①平城宮跡での歴史展示展開方向

「コンテンツ展開手法の検証」及び「iPad・iPod touchアプリケーションの試行結果（詳細は補足資料参照）」より平城宮跡での歴史展示展開方向を整理した。

劇場型映像展開

劇場型装置を活用して、一定の時間で多人数に対し、効果的な歴史展示コンテンツを展開。

〈展開例〉

- 平城京歴史館で奈良の歴史の全体像を俯瞰的に把握してもらう映像を放映



携帯型端末による展開

移動型端末または携帯型端末を活用して、平城宮跡を回遊する来訪者を対象として展開。

「iPad・iPod touchアプリケーションの試行」結果より、回遊用の展開として携帯型端末を採用する。

〈展開例〉

- 位置情報機能を活用し、平城宮跡を散策しながら、各ポイントで宮跡の解説やテーマストーリーなどが閲覧できるシステムを提供



②戦略ターゲットに向けた歴史展示展開方向

戦略ターゲットである学習旅行者に、学習効果を高めるために歴史展示コンテンツを活用した学習旅行パックを提供。

学習旅行パックの概要

- 歴史展示コンテンツを活用した映像を中心として構成。
- 映像で学習した奈良の歴史を、擬似的に体験してもらうツールとして木簡、当時の衣装のレプリカ等を作成。
- 学習旅行中の歴史学習を補助するためのワークシートを作成。

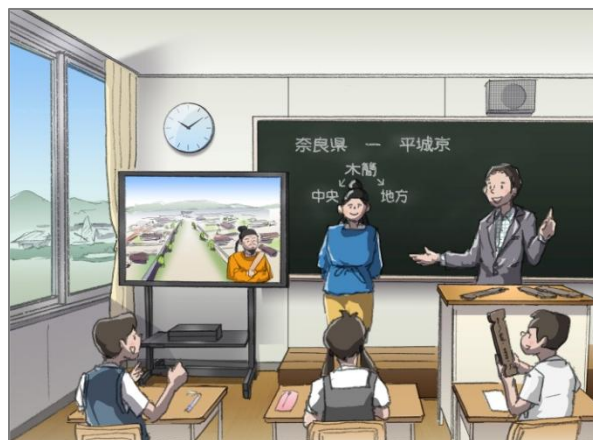
学習旅行パックを用いた展開(例)

〈事前学習〉

「歴史展示コンテンツ」の視点から作成された事前学習向け映像を視聴。歴史的な事件やその背景にある人々の想いについて学ぶ。

また、木簡や当時の衣装のレプリカで、さらにその時代を疑似体験する。

ガイドブック等を参考に現地学習の方法やポイントを知り、現地での活動予定を作成する。



〈現地での学習〉

史跡の解説を知るだけでなく、専用のワークシートに撮影した写真や発見したことなどを記入し、訪れた地に関する人物やエピソード、当時の様子等を体験的に理解する。

〈事後学習〉

現地で使用したワークシートを整理し、レポート作成や班ごとの発表に役立てることで学習効果を高める。

映像を補完するツール



木簡レプリカ



当時の衣装レプリカ

歴史展示コンテンツの展開方向

平城宮跡から奈良エリア全域へ

奈良エリアでの回遊促進

平城宮跡を訪問



テーマストーリーとの出会い

大型映像

携帯端末

ワークシート
(学習旅行
バック)

様々な人物のエピソードが語られる

平城京遷都後、平城京を中心
にして律令国家作りに励んだ藤
原不比等の物語

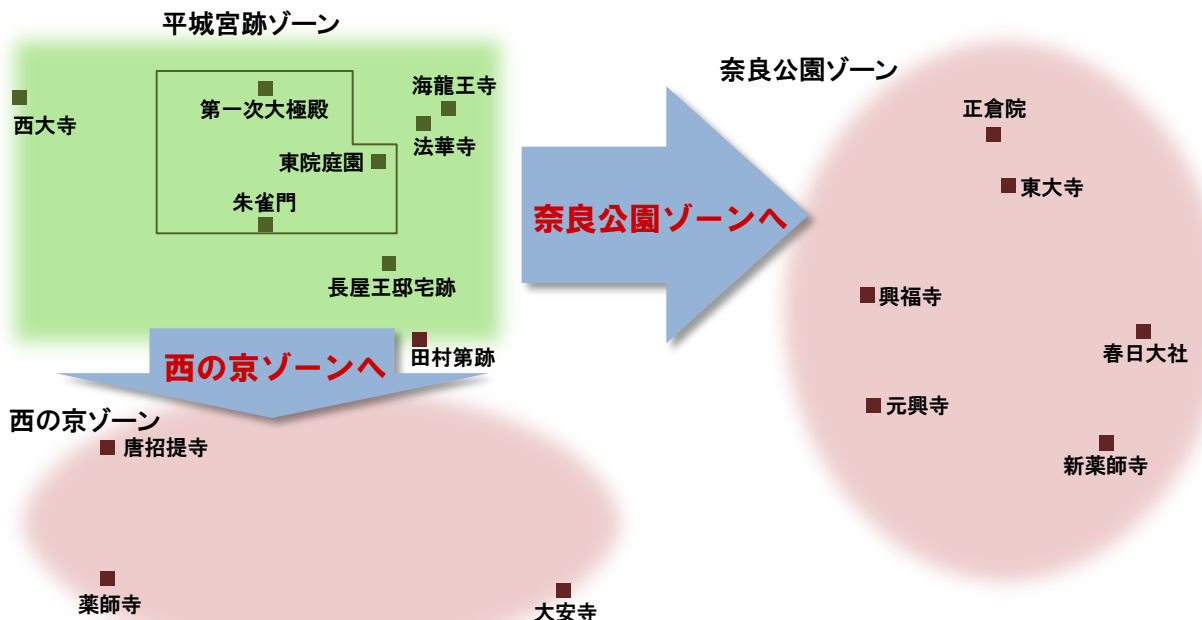
国史の編纂や律令の作成など
の国家基盤を作った物語

唐で学び、日本での仏教政策の
推進に尽力した道慈の物語

医療、建築、彫刻、薬、茶など
先進技術や文物を数多く伝え
た鑑真的物語

.....

関連する史跡・歴史物の紹介・誘導



奈良エリアでの歴史展示展開

平城宮跡で展開する歴史展示について、そのコンテンツや手法を奈良エリア全域にも広げ、観光客・学習旅行者が奈良エリア内の史跡・観光施設等を訪れた際に、歴史展示コンテンツを体感できるよう奈良エリア全体での歴史展示推進を図る。

さらには奈良全体の歴史展示の取り組みを推進していくことを検討する。

＜歴史展示展開イメージ＞



多様なターゲットへの対応

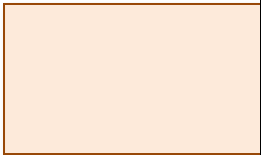
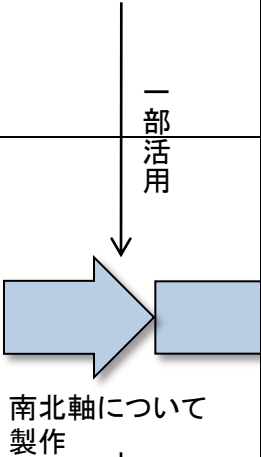
既存のリピーター層への対応

現在の奈良のリピーター層、特に「歴史ファン」と言われる層に対しては、今回策定したストーリーに基づき、コンテンツを充実させ、深みのある内容を展開することで対応する。

外国人観光客への対応

外国人観光客に対しては、大型映像での通訳機器の導入や、携帯端末アプリケーションの外国語対応や外国人向けホームページの設置など、コンテンツを拡充させ、国際的な広がりをもった展開を図る。

歴史展示コンテンツ制作・展開スケジュール

	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度
劇場型映像展開用 コンテンツ	実施計画策定	
携帯端末用 コンテンツ		一部活用 
学習旅行パック		一部活用 